褥瘡対策に関する評価

1 褥瘡の状態 (部位毎に記載)

両括弧内は点数 (※1)

部位(部位名)																		
1 ()	2 (_) 3	() 4	, (<u> </u>			_)				1	2	3	4
標瘡の状態の評価 (DESIGN-R2020)	深さ	(0) 皮膚 損傷・ 発赤な し	(1) 持続 する 赤		(2) 真皮 まで の損 傷	(3) 皮下 組織ま での損 傷		(4) B 組 超 超 損傷	載を える	を 腔、体 る 腔に至		(DTI)深 部損傷 褥瘡 (DTI)疑 い(※2)	Ě	(U) 深さ 判定が 不能の 場合				
	滲出液	(0) なし	(1) 少量 要しなし		毎日の交	換を	(3) 中等換	量:	1日1[回の交	(6)多量:1日2回 換			以上の交				
	大きさ (cm²) 長径×長径に 直交する最大 径 (持続する 発赤の範囲も 含む)	(0) 皮膚 損傷 なし	(3) 4未	満	(6) 4 以 16 未清	茜	36 未	満	(9) 36 以上 64 未満		1)64以上 (15)1 100 未 上 満		5) 100以 上				
	炎症·感染	(0) 局所 の炎 症徴 候なし	(1) 局所の炎症徴 候あり(創周辺 の発赤、腫瘍、 熱感、疼痛)			(3C)(※3) 臨界的 定着疑い (創面にぬめりが あり、浸出液が 多い。肉芽があ れば、浮腫性で 脆弱など)			(3) (※3) 局所の 明らかな感染徴 候あり(炎症徴 候、膿、悪臭)				付影響あ など)					
	肉芽形成 良性肉芽が占 める割合	(0) 治癒が は創が活 合、深部 瘡(DTI) 2)の場合	戋い場 90% 以」 損傷褥 占める		以上を	50° 90°	創面の % 以 上 %未満を める	上 10% 以		、上	5) 創面の 10%未満を 占める			全く形成れていな				
	壊死組織	(0) なし	(3) 柔ら) 柔らかい壊死組織			識あり (6			(6) 硬く厚い密着した壊死組織あ			54					
	ポケット (cm²) 潰瘍面も含め たポケット全周 (ポケットの長 径×長径(こ直 交する最大径) ー潰瘍面積	(0) なし	(0) なし (6) 4 未満						(12) 16 以上 36 未 (注		(24) 3	86以	止					
DESIGN-R2020 の合計点 (深さの点数は加えない)																		

- (※1) 該当する状態について、両括弧内の点数を合計し、「合計点」に記載すること。ただし、深さの点数は加えないこと。
- (※2) 深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いは、視診・触診、補助データ (発生経緯、血液検査、画像診断等) から判断する。
- (※3) 「3C」あるいは「3」のいずれかを記載する。いずれの場合も点数は3点とする。

2 褥瘡の状態の変化

1,4,1,4, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,									
	評価日	1月前	2月前	3月前					
	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)					
DESIGN-R2020の合計									
点									

- 1 前月までのDESIGN-R2020の合計点は、暦月内で最も低い合計点を記載する。
- 2 褥瘡の部位により合計点が異なる場合は、最も低い合計点を記載する。